

心理学 専攻 基礎心理学 コース（博士前期）

試験科目：専門科目（心理学）

試験時間：（120）分

問Ⅰ（解答のポイント）

「APA心理学大辞典（培風館）」「心理学 新版（有斐閣）」など、心理学及び関連領域に関する各種辞典や専門書にあげられている、心理学の基本的（辞書的）定義が簡潔に述べられていること。

問Ⅱ（解答のポイント）

- (1) 認知行動療法において扱われる認知と治療期間との関係について、認知の基本となる考え方や臨床的位置づけを理解した上で、適切に記述することが求められる。
- (2) 科学者－実践家モデルの意味するところが意義とともに明確に述べられることに加えて、心理臨床家養成のための教育が抱える課題や、臨床家心理学研究と臨床実践のそれぞれで求められる知識技術の異同について十分に議論されていることなどが求められる。
- (3) フロイト理論の「*pièce de résistance* ハイライト」は転移概念である。すなわち医者に対する患者の関係である。フロイトにとっては「客体」が最大の意義を持つ。アードラーは、「自分が従属的であり劣等であると感じている主体が「抗議」や「処置」やその他目的に役立つ「術策」によって錯覚的優位を確保しようと努める有様を見てとる。フロイトのように、「客体」が決定的である場合、これを外向的と考える。アードラーのように「主体」が決定的である時、これを内向的と考える。（Jung, C. G. (1916). *Über die Psychologie des Unbewussten*. Zürich 高橋義孝訳 無意識の心理 人文書院 1977. pp.64-70）
- (4) ACEs について、精神的影響だけではなく、身体的健康や社会生活にまで影響が及ぶ点を記述していることが1つ目のポイントである。また、それらがトラウマティックな出来事であるという精神的衝撃のみならず、神経発達観の観点からも説明されていることが2つ目のポイントである。最後に、小児期保護的体験・肯定的体験について、先行研究に基づき具体的に記述されていることが3つ目のポイントである。
- (5) 支持的心理療法と精神分析的な心理療法の違いについて理解していることが求められる。その上で、その臨床的意義について理解している内容を論理的に記述することが求められる。

- (6) バルテスの生涯発達の捉え方を理解し、獲得（成長）と喪失（衰退）、SOC 理論等、重要な概念の内容を含めて説明することが求められる。その上で、理解している内容を論理的に記述することが求められる。
- (7) 人の聴覚情報処理に関して、音高・音圧の知覚と空気の物理的な振動の周波数・振幅との関係、および恒常法や階段法などの心理物理学的手法について説明した上で、刺激の操作や呈示に関する実験デザインが明確に記述できている。
- (8) 結果期待と効力期待について理解し、内容を記述できていること。具体例を効果的に示していること。
- (9) 名誉の文化の概念について理解しており、またその文化内において暴力行動が適応的な行動として成立していることを理解していること。

心理学 専攻 臨床心理学 コース（博士前期）

試験科目：専門科目（心理学）

試験時間：（120）分

問Ⅰ（解答のポイント）

「APA 心理学大辞典（培風館）」「心理学 新版（有斐閣）」など、心理学及び関連領域に関する各種辞典や専門書にあげられている、心理学の基本的（辞書的）定義が簡潔に述べられていること。

問Ⅱ（解答のポイント）

- (1) 認知行動療法において扱われる認知と治療期間との関係について、認知の基本となる考え方や臨床的位置づけを理解した上で、適切に記述することが求められる。
- (2) 科学者－実践家モデルの意味するところが意義とともに明確に述べられることに加えて、心理臨床家養成のための教育が抱える課題や、臨床家心理学研究と臨床実践のそれぞれで求められる知識技術の異同について十分に議論されていることなどが求められる。
- (3) フロイト理論の「*pièce de résistance* ハイライト」は転移概念である。すなわち医者に対する患者の関係である。フロイトにとっては「客体」が最大の意義を持つ。アードラーは、「自分が従属的であり劣等であると感じている主体が「抗議」や「処置」やその他目的に役立つ「術策」によって錯覚的優位を確保しようと努める有様を見てとる。フロイトのように、「客体」が決定的である場合、これを外向的と考える。アードラーのように「主体」が決定的である時、これを内向的と考える。（Jung, C. G. (1916). *Über die Psychologie des Unbewussten*. Zürich 高橋義孝訳 無意識の心理 人文書院 1977. pp.64-70）
- (4) ACEs について、精神的影響だけではなく、身体的健康や社会生活にまで影響が及ぶ点を記述していることが1つ目のポイントである。また、それらがトラウマティックな出来事であるという精神的衝撃のみならず、神経発達の観点からも説明されていることが2つ目のポイントである。最後に、小児期保護的体験・肯定的体験について、先行研究に基づき具体的に記述されていることが3つ目のポイントである。
- (5) 支持的心理療法と精神分析的な心理療法の違いについて理解していることが求められる。その上で、その臨床的意義について理解している内容を論理的に記述することが求められる。

- (6) バルテスの生涯発達の捉え方を理解し、獲得（成長）と喪失（衰退）、SOC 理論等、重要な概念の内容を含めて説明することが求められる。その上で、理解している内容を論理的に記述することが求められる。
- (7) 人の聴覚情報処理に関して、音高・音圧の知覚と空気の物理的な振動の周波数・振幅との関係、および恒常法や階段法などの心理物理学的手法について説明した上で、刺激の操作や呈示に関する実験デザインが明確に記述できている。
- (8) 結果期待と効力期待について理解し、内容を記述できていること。具体例を効果的に示していること。
- (9) 名誉の文化の概念について理解しており、またその文化内において暴力行動が適応的な行動として成立していることを理解していること。